

災害時への備えに

こそたて
シップ 大船渡で防災ママフェスタ

大船渡市のNPO法人こそたてシップ（伊藤裕子理事長）は8日、大船渡町の防災観光交流センター（おおふなぼーと）でイベント「赤ちゃんからの防災ママフェスタ」を開いた。

災害時に役立つグッズの紹介や講演会などさまざまなコーナーが設けられ、来場した地域住民らが有事への備えにした。

イベントは、東日本大震災を経験していない親子が増える中、日ごろから防災意識を持つてもらおうと開催。

「Yahoo!基金2018年度東日本大震災復興支援助成プログラム」の助成を受けて行われた。

この日は、地元の明和保育園児が、和太鼓演奏でにぎやかにオープニングを飾った。

多目的ホールや展示室では、非常食の紹介と試食、防災グッズ、授乳服の展示、地元の

防災士・新沼真弓さんによるワークショップコーナーなどを開設。いわて母乳の会や未来かなえ機構、ドコモなどによる防災ブースも設けられた。

会議室では、東京のアウトドア流防災ガイド・あんどうりす氏による「毎日の生活が楽

になる防災講座」、猪川町の就労継続支援施設B型事業所「@（あが、いざというときに）」かたつむり」に命を守るポイント。今

よる「災害時でも美味いあったかご飯」、それぞれ日本赤十字社岩手支部らいたい」と話している。「乳幼児の緊急た

切さへ理解を深めた様子だった。

伊藤理事長は「4回目の開催で認知度が高まり、協力してくれる人たちがどんどん増えてきた。普段の育児と防災を連動させること



防災グッズなどが展示されたコーナー

（電子新聞に別写真あり）